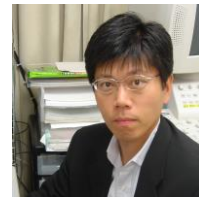




在宅医療について

～医療と介護の関わり 様々なサービスの利用について～



医療法人社団 有晃会 理事長 船本 全信

我が国は国民皆保険のもと、女性の平均寿命 86 歳（世界 1 位）・男性 80 歳（同 2 位）を実現するなど、世界でも類を見ない高水準の医療・介護制度を確立しています。しかし、入院医療・施設介護が中心であり、平均入院期間はアメリカの 5 倍、ドイツの 3 倍と長く、また自宅で死亡する人の割合は、1950 年の 80%から 2010 年は 12%にまで低下しております。今後予測される死亡者数は、2040 年にかけて今よりも約 40 万人増加し、国民の 60%以上が自宅での療養を望んでいるというデータから、療養の場および看取りの場の確保が喫緊の問題となっています。そういったことから、施設中心の医療・介護から、「可能な限り」住み慣れた生活の場において必要な医療・介護サービスが受けられ、安心して自分らしい生活を実現できる社会を目指す試みが始まりました。前回のふくろうだよりで、「医療と介護の面から皆さんをサポートしたい。」と書きましたが、実際「在宅医療」って一体どういったものか想像できますでしょうか？ここに 1 つ架空のケースを挙げてみたいと思います。

<症例> 75 歳男性。基礎疾患として、陳旧性脳梗塞（70 歳時発症）・右半身麻痺／肺気腫（喫煙歴 20 歳から 40 年）／高血圧があります。当初は介護認定を受けておられませんでしたので、市役所の「介護サービス課」に「主治医 ふなもとクリニック」として申請を行いました。市からの派遣される調査員の「認定調査」と「主治医意見書」をもとに「介護認定審査会」で要介護度が判断されました。その結果要介護 1 の認定を受け、居宅支援事業所のケアマネージャーと相談の上、週 2 回のデイサービスと週 1 回のヘルパーによるお買い物やお掃除といった家事援助を含めた訪問介護を利用していました。次第に通院困難となり 3 年前から家での定期的（週 1 回）な訪問診療を行っていました。認知症はないのですが、身体の不自由の程度悪化から日常生活に「相当の介助」が必要とのことで、2 年前に「区分変更申請」を経て要介護 3 の介護認定を受けました。74 歳の奥様と二人暮らしですが、奥様も持病の腰痛のためご主人のサポートに限界があることから、週 3 回のヘルパーによる家事援助と週 1 回の看護師による全身状態チェックと入浴介助・褥創予防兼処置といった訪問看護を、週 1 回の嚥下機能アップや関節の拘縮を防ぐ訪問リハビリを受けていました。昨年秋に血痰を認め、病院での入院精査の結果、肺癌／大腿骨転移の診断を受けました。腎機能が悪く抗癌剤が使えず治療不可能であり、自宅療養の継続となりました。今年の春には呼吸困難も強くなり、酸素吸入（在宅酸素療法）を開始しています。骨転移の痛みに対しては、モルヒネの貼付剤を使った緩和医療が奏効しています。経口摂取もされてはいましたが、義歯が外れて歯科医に来て貰って治療（訪問歯科診療）を受けました。誤嚥性肺炎予防のため、歯科衛生士による口腔ケア（訪問歯科衛生指導）も行っていました。最近食事の際の誤嚥が酷くなり栄養摂取法が検討必要となりました。鎖骨下静脈に埋め込んだ点滴ライン（CV ポート）からの経静脈栄養や経腹壁的に胃内にチューブを挿入する胃ろう（経管栄養）も考慮されましたが、どちらも入院が必要であったため、鼻から胃にチューブを挿入（経鼻胃管）しそこから流動食を注入しています。状態としてはかなり厳しくはなっていますが、聞くところによると 3 ヶ月後に初孫が産まれるとの事でご本人・ご家族とも前向きに頑張っておられます。今後は疼痛コントロール不良や全身状態が悪化した際には緩和ケア病棟・病院（ホスピス）の入院も考慮されているようですが、御本人の希望を尊重される御意向です。（文中の _____ 部分が医療保険で、_____ 部分が介護保険の適用部分）。

以上、架空のケースを挙げましたが、これまでは「入院で」しか行えないと思われてきた酸素吸入や様々な栄養管理、癌性疼痛に対するモルヒネを中心とした緩和医療などが、「自宅でも容易に」行えるようになっております。また緩和ケア病棟・病院（ホスピス）の全国的な拡充も、特に癌患者の自宅での生活を後押ししてくれるようになりました。さらに身体の状況次第では、身障者の認定や難病認定の申請が可能であり医療費の補助が受けられます。医療上の制約が少なくなり、介護上の問題が解消されつつある昨今、自宅に帰れなかった方々が帰れるようになって来ました。色々な病気の程度や家庭の状況もあると思いますが、よく分からなくて不安で一步踏み出せずにいるのなら、是非ご相談ください。それぞれ一人一人の力は小さくても、皆で力をあわせれば大きな力となりえます。

10月の予定

エコー検査	井上 Dr.	13(土)・27(土)
	杉山 Dr.	5(金)・12(金)・19(金)・26(金)
食事相談	宮本管理栄養士	15(月)・22(月)

11月の予定

エコー検査	井上 Dr.	10(土)・29(木)
	杉山 Dr.	2(金)・9(金)・16(金)・30(金)
食事相談	宮本管理栄養士	12(月)・19(月)



～ケアマネージャー 交代のお知らせ～

居宅介護支援事業所 ふくろう のケアマネージャーが交代しました。

平成21年4月よりケアマネージャーとして業務してまいりました丸山に代わり、平成24年9月より速水 敦 (はやみ あつし)、竹林 稚子 (たけばやし わかこ) の2名体制になりました。

併せて7月よりふくろう事務所(訪問介護、訪問看護、居宅介護支援)がふなもとクリニックの駐車場を挟んだ西側に移転しました。(甲子園浦風町6-20 2F)

介護に関することなど身近な相談窓口としてお気軽にお立ち寄りください。

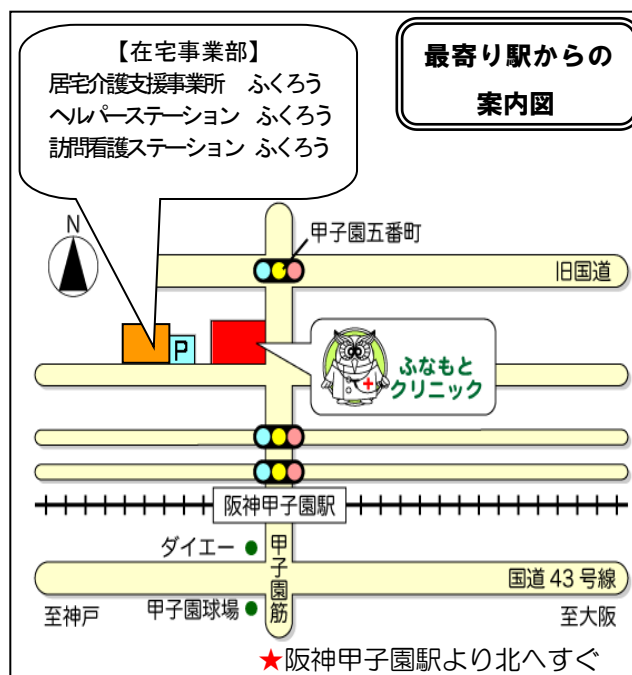
尚、ふくろう事務所1Fでデイサービスの開設準備をしております。(デイサービスセンターふくろう)

現在、丸山が担当として開設準備をしております。

皆様には、近々、ご案内等いたしますので、今後とも何卒よろしくお願いたします。

《相談窓口》 電話番号 0798-40-9500 (代表)

- 介護認定、ケアプラン作成のご相談 速水・竹林 (ケアマネージャー)
- ヘルパー派遣についてのご相談 岩崎 (サービス責任者)
- 訪問看護についてのご相談 末廣 (相談担当)



インフルエンザ予防接種のお知らせ

10月15日(月)より、インフルエンザワクチン予防接種を行っております。

予防接種を受けていただく際に予約は不要ですが、混雑が予想される為暫くお待ち頂く事がございます。

皆様にはご不便おかけしますが、何卒ご理解のほど宜しくお願い申し上げます。



- 65歳未満の方・・・2500円/1回
- 65歳以上の西宮市在住の方・・・1000円/1回

診察の順番について

送迎(火・木)、エコー検査(金・土)のある時、及び急患の方がおられる時につきましては診察室にお呼びする順序が入れ替わることがございます。

また、所用があり外出されている場合、診察の順番までに帰院されていない時には適宜調整をさせていただきます。

皆様のご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。